

1.Protocol

RS-232C 準拠/RS-485 (Half Duplex) 準拠

Start Bit	1
Stop Bit	1
Data Length	8
Parity	Odd or Even or None 可変
Data Rate	2,400~38,400 bit per second 可変
Code	ASCII
Terminate	CR LF (0x0d 0x0a)

2.Write command

マルチビューワ (AMV-400) が Menu を表示している状態では、コマンドを受け付けません。
「MENU+CR,LF」を返します。

2-1.Answer

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるがMODEが違うため実行しない
「E0+CR,LF」	Framing error
「E1+CR,LF」	Parity error
「E2+CR,LF」	Overrun error
「E3+CR,LF」	Command error
「MENU+CR,LF」	Menu 状態
「LOCK+CR,LF」	Lock 状態
「ALARM+CR,LF」	Alarm 状態

2-2.Command

コードをASCIIで表すので「ADOF+CR,LF」の場合、0x41,0x44,0x4f,0x46,0x0d,0x0a
になります。

2-2-1.アラーム関連

2-2-1-1.「ADOF+CR,LF」 (Alarm Display Off)

“ALARM”の文字表示を【OFF】に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-2.「ADON+CR,LF」 (Alarm Display On)

“ALARM”の文字表示を【ON】に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-3.「ADT n n n+CR,LF」 (Alarm Duration Time nnn)

アラームの保持時間を設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。
n n nは、設定値で設定範囲は、【003】～【999】秒です。

2-2-1-4.「AME+CR,LF」 (Alarm Mode External)

アラームのモードを【EXT.】に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-5.「AMI+CR,LF」 (Alarm Mode Internal)

アラームのモードを【INT.】に設定します。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-6. 「APB+CR,LF」 (Alarm Polarity Break)

アラーム入力の極性を【BREAK】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-7. 「APM+CR,LF」 (Alarm Polarity Make)

アラーム入力の極性を【MAKE】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-8. 「AROF+CR,LF」 (Alarm Return Off)

アラームのリターン動作を【OFF】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-1-9. 「ARON+CR,LF」 (Alarm Return On)

アラームのリターン動作を【ON】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-2. ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

2-2-2-1. 「BLB+CR,LF」 (Border Line Black)

分割画面の境界線を【BLACK】に設定します。

2-2-2-2. 「BLG+CR,LF」 (Border Line Gray)

分割画面の境界線を【GRAY】に設定します。

2-2-2-3. 「BLO+CR,LF」 (Border Line Off)

分割画面の境界線を【OFF】に設定します。

2-2-2-4. 「BLW+CR,LF」 (Border Line White)

分割画面の境界線を【WHITE】に設定します。

2-2-3. 画面選択

2-2-3-1. 「CCAS+CR,LF」 (Change Camera Auto Sequence)

オートシーケンスの画面切換えを選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但しALARM MODEの設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-2. 「CD+CR,LF」 (Change Division screen)

分割画面を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但しALARM MODEの設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-3 「C S c c+CR,LF」 (Change Single screen ch.01~04)

単画面を選択します。

c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但しALARM MODEの設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

※旧コマンド対応

2-2-3-4. 「C c c+CR,LF」 (Change single screen ch.01~04)

単画面を選択します。

c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但しALARM MODEの設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-5. 「C A S+CR,LF」 (Change camera Auto Sequence)

オートシーケンスの画面切換えを選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但しALARM MODEの設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-3-6. 「C 4 A+CR,LF」 (Change division 4 screen)

分割画面を選択します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますとアラーム状態を強制解除します。

但しALARM MODEの設定が【EXT.】の場合は「ALARM+CR,LF」を返し強制解除をしません。

Lock状態の時に、このコマンドを受けますと「LOCK+CR,LF」を返しコマンドを実行しません。

2-2-4.自動切換え時間設定

2-2-4-1. 「C A S T A n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time All ch.)

全画面のオートシーケンス切換え時間を同一設定します。

n nは、設定値で設定範囲は【01】～【99】秒です。

【00】の設定は、出来ません。

2-2-4-2. 「C A S T D n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Division screen)

分割画面のオートシーケンス切換え時間を個別に設定します。

n nは、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-3. 「C A S T M n n n n n n n n n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Mix)

全画面のオートシーケンス切換え時間を全項目まとめて設定します。

n nは、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

nは、単画面4チャンネル分+分割画面分で10Bytesになります。

2-2-4-4. 「C A S T S c c n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Single screen ch.01~04)

単画面のオートシーケンス切換え時間を各チャンネル個別に設定します。

c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

n nは、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

2-2-4-5. 「C A S T S n n n n n n n n n n+CR,LF」 (Camera Auto Sequence Time Single screen)

単画面のオートシーケンス切換え時間を全チャンネルまとめて設定します。

n nは、設定値で設定範囲は【00】～【99】秒です。

【00】の場合は、そのチャンネルを表示せずスキップします。

nは、単画面4チャンネル分×2Bytes=8Bytesになります。

2-2-5.コネクタ入力設定

2-2-5-1.「C I A+CR,LF」 (Connector In Alarm)

端子台入力の動作を【ALARM】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-5-2.「C I R+CR,LF」 (Connector In Remote)

端子台入力の動作を【REMOTE】に設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6.タイトル関連

2-2-6-1.「C T c c * * * * * * * * +CR,LF」 (Character Title ch.01~04 set)

ASCII コードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。

タイトルの文字長さは10文字なので10文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

*は、タイトルで詳細は、18ページのASCII Code表を参照してください。

対応文字については、カタカナ・英数字・記号の一部のみとなります。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6-2.「C T N c c * * * * * * * * +CR,LF」 (Character Title do Not memory ch.01~04 set)

ASCII コードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。

※書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。

タイトルの文字長さは10文字なので10文字未満の場合は、スペース文字を設定してください。

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

*は、タイトルで詳細は、18ページのASCII Code表を参照してください。

対応文字については、カタカナ・英数字・記号の一部のみとなります。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-6-3.「C J c c * * * * * * * . . . * * * * +CR,LF」 (Character title JIS ch.01~04 set)

JIS コードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。

タイトルの文字長さが10文字未満の場合スペース文字(0x2121)を挿入してください。

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

* * * * *は、1文字2Bytesコードを上位4Bitと下位4Bitに分けASCII4Bytesになります。

例) 0x2121は、0x32,0x31,0x32,0x31になります。

対応文字についてはJIS第一水準,第二水準,拡張文字の一部になります。

*は、10文字×4Bytes=40Bytesになります。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

※CJコマンドで設定したタイトルは、AMV-400のメニューで編集できません。

2-2-6-4.「C J N c c * * * * * * * . . . * * * * +CR,LF」

(Character title JIS do Not memory ch.01~04 set)

JIS コードのタイトル・キャラクタを各チャンネル個別に設定します。

※書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。

タイトルの文字長さが10文字未満の場合スペース文字(0x2121)を挿入してください。

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

* * * * *は、1文字2Bytesコードを上位4Bitと下位4Bitに分けASCII4Bytesになります。

例) 0x2121は、0x32,0x31,0x32,0x31になります。

対応文字についてはJIS第一水準,第二水準,拡張文字の一部になります。

*は、10文字×4Bytes=40Bytesになります。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

※CJNコマンドで設定したタイトルは、AMV-400のメニューで編集できません。

2-2-6-5. 「CTDDOF+CR,LF」 (Character Title Display Division screen Off)
分割画面時のタイトル表示を【OFF】に設定します。

2-2-6-6. 「CTDDON+CR,LF」 (Character Title Display Division screen On)
分割画面時のタイトル表示を【ON】に設定します。

2-2-6-7. 「CTDSOF+CR,LF」 (Character Title Display Single screen Off)
単画面時のタイトル表示を【OFF】に設定します。

2-2-6-8. 「CTDSOON+CR,LF」 (Character Title Display Single screen On)
単画面時のタイトル表示を【ON】に設定します。

2-2-6-9. 「CTFSDL+CR,LF」 (Character Title Font Size Division screen Large)
分割画面時のタイトルの文字サイズを【LARGE】に設定します。

2-2-6-10. 「CTFSDS+CR,LF」 (Character Title Font Size Division screen Small)
分割画面時のタイトルの文字サイズを【SMALL】に設定します。

2-2-6-11. 「CTFSSL+CR,LF」 (Character Title Font Size Single screen Large)
単画面時のタイトルの文字サイズを【LARGE】に設定します。

2-2-6-12. 「CTFSSS+CR,LF」 (Character Title Font Size Single screen Small)
単画面時のタイトルの文字サイズを【SMALL】に設定します。

2-2-7. 日付,時刻設定

2-2-7-1. 「DSDnn+CR,LF」 (Date Set Day)
日付の日の単位を設定します。
nnは、設定値で設定範囲は【01】～【31】日です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-2. 「DSMnn+CR,LF」 (Date Set Month)
日付の月の単位を設定します。
nnは、設定値で設定範囲は【01】～【12】月です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-3. 「DSYnn+CR,LF」 (Date Set Year)
日付の年の単位を設定します。
nnは、設定値で設定範囲は【00】～【99】年です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-4. 「TDSyymmddhhffss+CR,LF」 (Time & Date Set 年月日時分秒)
年月日時分秒を纏めて設定します。
yyは、設定値で設定範囲は【00】～【99】年です。
mmは、設定値で設定範囲は【01】～【12】月です。
ddは、設定値で設定範囲は【01】～【31】日です。
hhは、設定値で設定範囲は【00】～【23】時です。
ffは、設定値で設定範囲は【00】～【59】分です。
ssは、設定値で設定範囲は【00】～【59】秒です。
アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-5. 「T S A+CR,LF」 (Time Set Adjustment)

時刻の秒の単位を00に設定します。

その時の時刻が30秒未満の場合00秒に合わせます。

その時の時刻が30秒以上の場合00秒に合わせ分の単位を+1します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-6. 「T S H n n+CR,LF」 (Time Set Hour)

時刻の時の単位を設定します。

n nは、設定値で設定範囲は【00】～【23】時です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-7. 「T S M n n+CR,LF」 (Time Set Minute)

時刻の分の単位を設定します。

n nは、設定値で設定範囲は【00】～【59】分です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-7-8. 「T S S n n+CR,LF」 (Time Set Second)

時刻の秒の単位を設定します。

n nは、設定値で設定範囲は【00】～【59】秒です。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-8. 日付,時刻表示の設定

2-2-8-1. 「T S D O F+CR,LF」 (Time Signal Display Off)

日付,時刻の表示を【OFF】に設定します。

2-2-8-2. 「T S D O N+CR,LF」 (Time Signal Display On)

日付,時刻の表示を【ON】に設定します。

2-2-8-3. 「T S D R n+CR,LF」 (Time Signal Display Range 1~8)

日付,時刻表示のレンジを設定します。

nは、設定値で設定範囲は【1】～【8】です。

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【 MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【 MDHM】 月日時分 です。

6は【 MD】 月日 です。

7は【 HMS】 時分秒 です。

8は【 HM】 時分 です。

2-2-9. 分割画面選択

2-2-9-1. 「D S S 2+CR,LF」 (Division Screen Select 2)

分割画面を2分割画面に設定します。

2-2-9-2. 「D S S 4+CR,LF」 (Division Screen Select 4)

分割画面を4分割画面に設定します。

2-2-10. ボタン ロック設定

2-2-10-1. 「LOF+CR,LF」 (Lock Off)

ボタン・ロックを解除します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-10-2. 「LON+CR,LF」 (Lock On)

ボタン・ロックを設定します。

アラーム状態の時に、このコマンドを受けますと「ALARM+CR,LF」を返し設定しません。

2-2-11. OSD 表示位置微調整

2-2-11-1. 「OOHn n+CR,LF」 (OSD Offset Horizontal nn)

OSD 表示の水平位置の微調整を設定します。

nn は、設定値で設定範囲は【00】～【15】です。

2-2-11-2. 「OOVn n+CR,LF」 (OSD Offset Vertical nn)

OSD 表示の垂直位置の微調整を設定します。

nn は、設定値で設定範囲は【00】～【15】です。

2-2-12. 電源投入時画面設定

2-2-12-1. 「POSCAS+CR,LF」 (Power On Screen Camera Auto Sequence)

電源投入時の表示画面を自動切換えに設定します。

2-2-12-2. 「POSD+CR,LF」 (Power On Screen Division screen)

電源投入時の表示画面を分割画面に設定します。

2-2-12-3. 「POSSc c+CR,LF」 (Power On Screen Single screen ch.01～04)

電源投入時の表示画面を単画面に設定します。

cc は、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

2-2-13. ビデオ調整

2-2-13-1. 「VABc c n n n+CR,LF」 (Video Adjustment Brightness ch.01～04 nnn)

ビデオ調整のブライトネスを各チャンネル個別に設定します。

cc は、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

nnn は、設定値で設定範囲は【000】～【127】 (000～063,-64～-1) です。

2-2-13-2. 「VABn n n n n n n n n n n n n n n+CR,LF」 (Video Adjustment Brightness)

ビデオ調整のブライトネスを全チャンネルまとめて設定します。

nnn は、設定値で設定範囲は【000】～【127】 (000～063,-64～-1) です。

n は、4チャンネル分×3Bytes=12Bytes になります。

2-2-13-3. 「VABAn n n n+CR,LF」 (Video Adjustment Brightness ch.01～04 All nnn)

ビデオ調整のブライトネスを全チャンネル同一設定します。

nnn は、設定値で設定範囲は【000】～【127】 (000～063,-64～-1) です。

2-2-13-4. 「VACc c n n n+CR,LF」 (Video Adjustment Contrast ch.01～04 nnn)

ビデオ調整のコントラストを各チャンネル個別に設定します。

cc は、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

nnn は、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。

- 2-2-13-5. 「VACnnnnnnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Contrast)
 ビデオ調整のコントラストを全チャンネルまとめて設定します。
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。
 nは、4チャンネル分×3Bytes=12Bytesになります。
- 2-2-13-6. 「VACAnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Contrast ch.01~04 All nnn)
 ビデオ調整のコントラストを全チャンネル同一設定します。
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。
- 2-2-13-7. 「VAHccnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Hue ch.01~04 nnn)
 ビデオ調整のヒューを各チャンネル個別に設定します。
 ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【255】です。
- 2-2-13-8. 「VAHnnnnnnnnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Hue)
 ビデオ調整のヒューを全チャンネルまとめて設定します。
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【255】です。
 nは、4チャンネル分×3Bytes=12Bytesになります。
- 2-2-13-9. 「VAHANnn+CR,LF」 (Video Adjustment Hue ch.01~04 All nnn)
 ビデオ調整のヒューを全チャンネル同一設定します。
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【255】です。
- 2-2-13-10. 「VASHccnn+CR,LF」 (Video Adjustment Sharpness ch.01~04 nn)
 ビデオ調整のシャープネスを各チャンネル個別に設定します。
 ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。
 nnは、設定値で設定範囲は【00】～【31】です。
- 2-2-13-11. 「VASHnnnnnnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Sharpness)
 ビデオ調整のシャープネスを全チャンネルまとめて設定します。
 nnは、設定値で設定範囲は【00】～【31】です。
- 2-2-13-12. 「VASHAnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Sharpness ch.01~04 All nn)
 ビデオ調整のシャープネスを全チャンネル同一設定します。
 nnは、設定値で設定範囲は【00】～【31】です。
 nは、4チャンネル分×2Bytes=8Bytesになります。
- 2-2-13-13. 「VASAccnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Saturation ch.01~04 nnn)
 ビデオ調整のサチュレーションを各チャンネル個別に設定します。
 ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。
- 2-2-13-14. 「VASAnnnnnnnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Saturation)
 ビデオ調整のサチュレーションを全チャンネルまとめて設定します。
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。
 nは、4チャンネル分×3Bytes=12Bytesになります。
- 2-2-13-15. 「VASAAnnn+CR,LF」 (Video Adjustment Saturation ch.01~04 All nnn)
 ビデオ調整のサチュレーションを全チャンネル同一設定します。
 nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。

2-2-14.ビデオ・ロス

2-2-14-1. 「VL c c OF+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01~04 Off)

ビデオ ロスの検出を各チャンネル個別に【OFF】に設定します。
c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

2-2-14-2. 「VL c c ON+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01~04 On)

ビデオ ロスの検出を各チャンネル個別に【ON】に設定します。
c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

2-2-14-3. 「VLo o o o+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01~04)

ビデオ ロスの検出を全チャンネルまとめて設定します。
oは、「F」が【OFF】、「N」が【ON】です。

2-2-14-4. 「VLAOF+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01~04 All Off)

ビデオ ロスの検出を全チャンネル【OFF】に同一設定します。

2-2-14-5. 「VLAON+CR,LF」 (Video Loss detect ch.01~04 All On)

ビデオ ロスの検出を全チャンネル【ON】に同一設定します。

2-2-14-6. 「VLBCB+CR,LF」 (Video Loss Background Color Blue)

ビデオ ロス時の背景色を【BLUE】に設定します。

2-2-14-7. 「VLBCN+CR,LF」 (Video Loss Background Color Normal)

ビデオ ロス時の背景色を【NORMAL】に設定します。

2-2-14-8. 「VLDOF+CR,LF」 (Video Loss Display Off)

ビデオ ロスの表示を【OFF】に設定します。

2-2-14-9. 「VLDON+CR,LF」 (Video Loss Display On)

ビデオ ロスの表示を【ON】に設定します。

2-2-14-10. 「VLSOOF+CR,LF」 (Video Loss Signal Output Off)

ビデオ ロスの信号出力を【OFF】に設定します。

2-2-14-11. 「VLSOON+CR,LF」 (Video Loss Signal Output On)

ビデオ ロスの信号出力表示を【ON】に設定します。

2-2-15.映像フォーマット

2-2-15-1. 「VFA n+CR,LF」 (Video Format All ch.01~04 n)

ビデオ フォーマットを全チャンネル同一設定します。
nは、設定値で設定範囲は【1】～【7】です。

1は【AHD1080p】です。

2は【AHD 720p】です。

3は【HD-TVI 1080p】です。

4は【HD-TVI 720p】です。

5は【HD-CVI 1080p】です。

6は【HD-CVI 720p】です。

7は【NTSC】です。

2-2-15-2. 「VF c c n+CR,LF」 (Video Format ch.01~04 n)

ビデオ フォーマットを各チャンネル個別に設定します。
c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。
nは、設定値で設定範囲は【1】～【7】です。
1は【AHD1080p】です。
2は【AHD 720p】です。
3は【HD-TV I 1080p】です。
4は【HD-TV I 720p】です。
5は【HD-CV I 1080p】です。
6は【HD-CV I 720p】です。
7は【NTSC】です。

2-2-15-3. 「VF n n n n+CR,LF」 (Video Format ch.01~04)

ビデオ フォーマットを全チャンネルまとめて設定します。
nは、設定値で設定範囲は【1】～【7】です。
1は【AHD1080p】です。
2は【AHD 720p】です。
3は【HD-TV I 1080p】です。
4は【HD-TV I 720p】です。
5は【HD-CV I 1080p】です。
6は【HD-CV I 720p】です。
7は【NTSC】です。

2-2-16.分割画面ランダム配置 ※同じチャンネルの重複配置は、できません。

2-2-16-1. 「SPD 2 c c c c+CR,LF」 (Screen Placement Division2)

2分割画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。
c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

2-2-16-2. 「SPD 2 N c c c c+CR,LF」 (Screen Placement Division2 do Not memory)

2分割画面に任意のチャンネルをまとめて配置します。
※書き換え回数保護の為、設定を記憶しません。
c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

2-2-17.NTSC 画面アスペクト比設定

2-2-17-1. 「NAR 4+CR,LF」 (NTSC Aspect Ratio 4:3)

ビデオフォーマットがNTSCのときのアスペクト比を4:3に設定します。

2-2-17-2. 「NAR F+CR,LF」 (NTSC Aspect Ratio FULL)

ビデオフォーマットがNTSCのときのアスペクト比をFULLに設定します。

2-2-18.オート ゲイン コントロール設定

2-2-18-1. 「AGC 0 1 OF+CR,LF」～「AGC 0 4 OF+CR,LF」 (Auto Gain Control ch.01~04 Off)

オート ゲイン コントロール設定を【OFF】にします。

2-2-18-2. 「AGC 0 1 ON+CR,LF」～「AGC 0 4 ON+CR,LF」 (Auto Gain Control ch.01~04 On)

オート ゲイン コントロール設定を【ON】にします。

2-2-18-3. 「AGC o o o o+CR,LF」 (Auto Gain Control ch.01~04)

オート ゲイン コントロール設定を一斉にします。
oは、「F」が【OFF】，「N」が【ON】です。

3.Read command

3-1.異常時 Answer

- 「E 0+CR,LF」 Framing error
- 「E 1+CR,LF」 Parity error
- 「E 2+CR,LF」 Overrun error
- 「E 3+CR,LF」 Command Error

3-2.Command

3-2-1.アラーム関連

3-2-1-1.「RAD+CR,LF」 (Read Alarm Display)

“ALARM” 文字表示の設定を返します。

- 「ADOF+CR,LF」 【OFF】
- 「ADON+CR,LF」 【ON】

3-2-1-2.「RADT+CR,LF」 (Read Alarm Duration Time)

アラーム保持時間の設定を返します。

「ADT n n n+CR,LF」

n n nは、設定値で設定範囲は、【003】～【999】秒です。

3-2-1-3.「RAM+CR,LF」 (Read Alarm Mode)

アラーム モードの設定を返します。

- 「AME+CR,LF」 【EXTERNAL】
- 「AMI+CR,LF」 【INTERNAL】

3-2-1-4.「RAP+CR,LF」 (Read Alarm Polarity)

アラーム入力極性の設定を返します。

- 「APB+CR,LF」 【BREAK】
- 「APM+CR,LF」 【MAKE】

3-2-1-5.「RAR+CR,LF」 (Read Alarm Return)

アラーム リターンの設定を返します。

- 「AROF+CR,LF」 【OFF】
- 「ARON+CR,LF」 【ON】

3-2-2.ボーダーライン (分割画面時の境界線) 設定

3-2-2-1.「RBL+CR,LF」 (Read Border Line)

分割画面の境界線の設定を返します。

- 「BLB+CR,LF」 【BLACK】
- 「BLG+CR,LF」 【GRAY】
- 「BLO+CR,LF」 【OFF】
- 「BLW+CR,LF」 【WHITE】

3-2-3.現在のモード

3-2-3-1.「RM+CR,LF」 (Read Mode)

AMV-400 の現在の状態を返します。

「CAS+CR,LF」	オートシーケンスで動作中
「Acc+CR,LF」	アラーム保持中
「Sc c+CR,LF」	単画面
「D+CR,LF」	2 or 4 分割画面
「MENU+CR,LF」	メニュー表示中

c c は、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

3-2-4.自動切換え時間

3-2-4-1.「RCASTM+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Mix)

オートシーケンスの全画面の切換え時間設定を全項目まとめて返します。

「CASTMnnnnnnnnnn+CR,LF」

nn は、設定値で設定範囲は、【00】～【99】秒です。

n は、4チャンネル分+分割画面分で10Bytesになります。

3-2-4-2.「RCASTS+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Single screen)

オートシーケンスの単画面切換え時間設定を全チャンネルまとめて返します。

「CASTSnnnnnnnnnn+CR,LF」

nn は、設定値で設定範囲は、【00】～【99】秒です。

n は、4チャンネル分×2Bytes=8Bytesになります。

3-2-4-3.「RCASTSc c+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Single screen ch.01~04)

オートシーケンスの単画面切換え時間設定を各チャンネル個別に返します。

「CASTSc c n n+CR,LF」

c c は、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

nn は、設定値で設定範囲は、【00】～【99】秒です。

3-2-4-4.「RCASTD+CR,LF」 (Read Camera Auto Sequence Time Division screen)

オートシーケンスの分割画面切換え時間設定を個別に返します。

「CASTDnn+CR,LF」

nn は、設定値で設定範囲は、【00】～【99】秒です。

3-2-5.コネクタ入力

3-2-5-1.「RCI+CR,LF」 (Read Connector In)

端子台入力の設定を返します。

「CIA+CR,LF」	【ALARM】
「CIR+CR,LF」	【REMOTE】

3-2-6.タイトル関連

3-2-6-1.「RCTc c+CR,LF」 (Read Character Title ch.01~04)

ASCII コードのタイトル設定 10 文字を各チャンネル個別に返します。

「CTc c * * * * *+CR,LF」

c c は、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

*は、タイトルで詳細は、18 ページの ASCII Code 表を参照してください。

※CJ コマンドでタイトルを設定した場合、RCT コマンドで Read すると誤った Data を返します。

3-2-6-2. 「RCJcc+CR,LF」 (Read Character title JIS ch.01~04)

JIS コードのタイトル設定 10 文字を各チャンネル個別に返します。

「CJcc*****. . . *****+CR,LF」 ~

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】 ~ 【04】です。

*****は、1文字 2Bytes コードを上位 4Bit と下位 4Bit に分け ASCII 4Bytes になります。

例) 0x2121 は、0x32,0x31,0x32,0x31 になります。

*は、10 文字×4Bytes=40Bytes になります。

3-2-6-3. 「RCTDD+CR,LF」 (Read Character Title Display Division screen)

分割画面時のタイトル表示設定を返します。

「CTDOF+CR,LF」 【OFF】

「CTDON+CR,LF」 【ON】

3-2-6-4. 「RCTDS+CR,LF」 (Read Character Title Display Single screen)

単画面時のタイトル表示設定を返します。

「CTSOFF+CR,LF」 【OFF】

「CTSON+CR,LF」 【ON】

3-2-6-5. 「RCTFSD+CR,LF」 (Read Character Title Font Size Division screen)

分割画面時のタイトルの文字サイズ設定を返します。

「CTFSDS+CR,LF」 【SMALL】

「CTFSDL+CR,LF」 【LARGE】

3-2-6-6. 「CTFSSS+CR,LF」 (Read Character Title Font Size Single screen)

単画面時のタイトルの文字サイズ設定を返します。

「CTFSSS+CR,LF」 【SMALL】

「CTFSSL+CR,LF」 【LARGE】

3-2-7. 日付,時刻

3-2-7-1. 「RTD+CR,LF」 (Read Time & Date)

AMV-400 の現在の日付,時刻を返します。

「yyyy. mm. dd hh : ff : ss+CR,LF」

yyyyは、設定値で設定範囲は【2000】 ~ 【2099】年です。

mmは、設定値で設定範囲は【01】 ~ 【12】月です。

ddは、設定値で設定範囲は【01】 ~ 【31】日です。

hhは、設定値で設定範囲は【00】 ~ 【23】時です。

ffは、設定値で設定範囲は【00】 ~ 【59】分です。

ssは、設定値で設定範囲は【00】 ~ 【59】秒です。

3-2-8. 日付,時刻の表示

3-2-8-1. 「RTSD+CR,LF」 (Read Time Signal Display)

時刻表示の設定を返します。

「TSDOFF+CR,LF」 【OFF】

「TSDON+CR,LF」 【ON】

3-2-8-2. 「RTSDR+CR,LF」 (Read Time Signal Display Range)

時刻表示のレンジ設定を返します。

「TSDR n+CR,LF」

nは、設定値で設定範囲は【1】～【8】です。

1は【YMDHMS】 年月日時分秒 です。

2は【YMDHM】 年月日時分 です。

3は【YMD】 年月日 です。

4は【MDHMS】 月日時分秒 です。

5は【MDHM】 月日時分 です。

6は【MD】 月日 です。

7は【HMS】 時分秒 です。

8は【HM】 時分 です。

3-2-9.分割画面選択

3-2-9-1. 「RDS S+CR,LF」 (Read Division Screen Select)

分割画面の画面選択の設定を返します。

「DSS 2+CR,LF」 2分割画面

「DSS 4+CR,LF」 4分割画面

3-2-10.ボタン ロック

3-2-10-1. 「RL+CR,LF」 (Read Lock condition)

ボタン ロックの状態を返します。

「LOF+CR,LF」 ロック解除

「LON+CR,LF」 ロック中

3-2-11.OSD 表示位置微調整

3-2-11-1. 「ROOH+CR,LF」 (Read OSD Offset Horizontal)

OSD 表示の水平方向の微調整設定値を返します。

「OOH n n+CR,LF」

n nは、設定値で設定範囲は、【00】～【15】です。

3-2-11-2. 「ROOV+CR,LF」 (Read OSD Offset Vertical)

OSD 表示の垂直方向の微調整設定値を返します。

「OOV n n+CR,LF」

n nは、設定値で設定範囲は、【00】～【15】です。

3-2-12.電源投入時の画面設定

3-2-12-1. 「RPOS+CR,LF」 (Read Power on Screen)

電源投入時の画面設定を返します。

「POSCAS+CR,LF」 オートシーケンス

「POSD+CR,LF」 分割画面

「POSS c c+CR,LF」 単画面

c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

3-2-13.ビデオ調整

3-2-13-1. 「RVAB+CR,LF」 (Read Video Adjustment Brightness all ch.01~04)

ビデオ調整のブライトネス設定を全チャンネルまとめて返します。

「VABnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」

nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】 (000~063,-64~-1) です。

nは、4チャンネル分×3Bytes=12Bytesになります。

3-2-13-2. 「RVABcc+CR,LF」 (Read Video Adjustment Brightness ch.01~04)

ビデオ調整のブライトネス設定を各チャンネル個別に返します。

「VABccnnnn+CR,LF」

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】 (000~063,-64~-1) です。

3-2-13-3. 「RVAC+CR,LF」 (Read Video Adjustment Contrast all ch.01~04)

ビデオ調整のコントラスト設定を全チャンネルまとめて返します。

「VACnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」

nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。

nは、4チャンネル分×3Bytes=12Bytesになります。

3-2-13-4. 「RVACcc+CR,LF」 (Read Video Adjustment Contrast ch.01~04)

ビデオ調整のコントラスト設定を各チャンネル個別に返します。

「VACccnnnn+CR,LF」

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。

3-2-13-5. 「RVAH+CR,LF」 (Read Video Adjustment Hue all ch.01~04)

ビデオ調整のヒュー設定を全チャンネルまとめて返します。

「VAHnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」

nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【255】です。

nは、4チャンネル分×3Bytes=12Bytesになります。

3-2-13-6. 「RVAHcc+CR,LF」 (Read Video Adjustment Hue ch.01~04)

ビデオ調整のヒュー設定を各チャンネル個別に返します。

「VAHccnnnn+CR,LF」

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

nnnは、設定値で設定範囲は【000】～【255】です。

3-2-13-7. 「RVASH+CR,LF」 (Read Video Adjustment Sharpness all ch.01~04)

ビデオ調整のシャープネス設定を全チャンネルまとめて返します。

「VASHnnnnnnnnnnnn+CR,LF」

nnは、設定値で設定範囲は【00】～【31】です。

nは、4チャンネル分×2Bytes=8Bytesになります。

3-2-13-8. 「RVASHcc+CR,LF」 (Read Video Adjustment Sharpness ch.01~04)

ビデオ調整のシャープネス設定を各チャンネル個別に返します。

「VASHccnn+CR,LF」

ccは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

nnは、設定値で設定範囲は【00】～【31】です。

3-2-13-9. 「RVASA+CR,LF」 (Read Video Adjustment Saturation all ch.01~04)

ビデオ調整のサチュレーション設定を全チャンネルまとめて返します。

「VASAnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」

nnnnは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。

nは、4チャンネル分×3Bytes=12Bytesになります。

3-2-13-10. 「RVASAc c+CR,LF」 (Read Video Adjustment Saturation ch.01~04)

ビデオ調整のサチュレーション設定を各チャンネル個別に返します。

「VASAc c n n n n+CR,LF」

c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

n n n nは、設定値で設定範囲は【000】～【127】です。

3-2-14 ビデオ・ロス

3-2-14-1. 「RVL+CR,LF」 (Read Video Loss detection ch.01~04)

ビデオ・ロス設定を全チャンネルまとめて返します。

「VLo o o o+CR,LF」

oは、「F」【OFF】、「N」【ON】です。

3-2-14-2. 「RVLc c+CR,LF」 (Read Video Loss detection ch.01~04)

ビデオ・ロスの設定を各チャンネル個別に返します。

「VLc c OF+CR,LF」～【OFF】

「VLc c ON+CR,LF」【ON】

c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

3-2-14-3. 「RVLBC+CR,LF」 (Read Video Loss Background Color)

ビデオ・ロスの背景色設定を返します。

「VLBCB+CR,LF」【BLUE】

「VLBCN+CR,LF」【NORMAL】(黒色)

3-2-14-4. 「RVL D+CR,LF」 (Read Video Loss Display)

ビデオ・ロスの表示設定を返します。

「VLDOF+CR,LF」【OFF】

「VLDON+CR,LF」【ON】

3-2-14-5. 「RVL SO+CR,LF」 (Read Video Loss Signal Output)

ビデオ・ロスの信号出力設定を返します。

「VLSOOF+CR,LF」【OFF】

「VLSOON+CR,LF」【ON】

3-2-15.映像フォーマット

3-2-15-1. 「RVF+CR,LF」 (Read Video Format All ch.01~04)

ビデオフォーマット設定を全チャンネルまとめて返します。

「VFnnnnn+CR,LF」

nは、設定値で設定範囲は【1】～【7】です。

1は【AHD1080p】です。

2は【AHD 720p】です。

3は【HD-TVI 1080p】です。

4は【HD-TVI 720p】です。

5は【HD-CVI 1080p】です。

6は【HD-CVI 720p】です。

7は【NTSC】です。

3-2-15-2. 「RVFc c+CR,LF」 (Read Video Format ch.01~04)

ビデオ フォーマット設定を各チャンネル個別に返します。

「VFc c n+CR,LF」

c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

nは、設定値で設定範囲は【1】～【7】です。

1は【AHD1080p】です。

2は【AHD 720p】です。

3は【HD-TV I 1080p】です。

4は【HD-TV I 720p】です。

5は【HD-CV I 1080p】です。

6は【HD-CV I 720p】です。

7は【NTSC】です。

3-2-16.分割画面ランダム配置

3-2-16-1. 「RSPD2+CR,LF」 (Read Screen Placement Division2)

2分割画面のチャンネル配置設定をまとめて返します。

「SPD2 c c c c+CR,LF」

c cは、チャンネル番号で設定範囲は【01】～【04】です。

3-2-17.NTSC 画面アスペクト比設定

3-2-17-1. 「RNAR+CR,LF」 (Read Screen Aspect Ratio)

ビデオフォーマットがNTSCのときのアスペクト比設定を返します。

「NAR4+CR,LF」 4:3

「NARF+CR,LF」 FULL

3-2-18 オート ゲイン コントロール設定

3-2-18-1. 「RAGC+CR,LF」 (Read Auto Gain Control ch.01~04)

オート ゲイン コントロールの全設定を返します。

「AGC o o o o+CR,LF」

oは、「F」OFF, 「N」ONです。

3-2-18-2. 「RAGC01+CR,LF」～「RAGC04+CR,LF」 (Read Auto Gain Control ch.01~04)

オート ゲイン コントロールの個別設定を返します。

「AGC01OF+CR,LF」～「AGC04ON+CR,LF」

3-2-19.バージョン・ナンバー

3-2-19-1. 「RVN+CR,LF」 (Read Version Number)

AMV-400のファームウェアのバージョン・ナンバーを返します。

「VN=n. n n+CR,LF」

nは、数値で【0】～【9】です。

4. ご注意

Command の発行と同時に AMV-400 のフロントスイッチを操作されますと誤った Answer を返すことがあります。

Command の発行を連続で行う場合 200mSeconds.以上の間隔をあけて下さい。

RS-485 で使用の場合 Command の先頭に Slave Address の番号を付けます。

Answer Back の先頭にも Slave Address の番号が付きます。

CT や CJ のタイトル設定のコマンド発行を連続で行う場合 600mSeconds.以上の間隔をあけて下さい。

CJ コマンドで設定したタイトルは、AMV-400 のメニューで編集できません。

CJ コマンドで設定したタイトルを RCT コマンドで Read すると誤った Data を返します。

JIS X0208 第 1 水準は 3,562 文字です。

0x222f~0x2239,0x2242~0x2249,0x2251~0x225b,0x226b~0x2271,0x227a~0x227d,
0x2321~0x232f,0x233a~0x2340,0x235b~0x2360,0x237b~0x237e,0x2474~0x247e,
0x2577~0x257e,0x2639~0x2640,0x2659~0x267e,0x2742~0x2750,0x2773~0x277e,
0x2841~0x2c7e,0x2d3f,0x2d57~0x2d5e,0x2d70~0x2d72,0x2d74~0x2d77,
0x2d7a~0x2f7e,0x4f54~0x4f7e のコードは除きます。

JIS X0208 第 2 水準は 3,390 文字で 0x7427~0x7e7e のコードは除きます。

拡張文字は、0x7921~0x7c6e の漢字 360 文字、 0x7c71~0x7c7a,0x7c7d,0x7c7e の記号 12 文字。
合計 7,324 文字です。

5. 変更履歴

2018.02.28

初版

2019.04.02

NTSC 画面アスペクト比設定 (2-2-17, 3-2-17)

オート ゲイン コントロール設定 (2-2-18, 3-2-18) を追加

ASCII Code 表 (16進)

SPACE	20H	a	61H	タ	C0H
		b	62H	チ	C1H
:	3AH	c	63H	ツ	C2H
)	28H	d	64H	テ	C3H
(29H	e	65H	ト	C4H
—	2DH	f	66H		
.	2EH	g	67H	ナ	C5H
/	2FH	h	68H	ニ	C6H
		i	69H	ヌ	C7H
0	30H	j	6AH	ネ	C8H
1	31H	k	6BH	ノ	C9H
2	32H	l	6CH		
3	33H	m	6DH	ハ	CAH
4	34H	n	6EH	ヒ	CBH
5	35H	o	6FH	フ	CCH
6	36H	p	70H	ヘ	CDH
7	37H	q	71H	ホ	CEH
8	38H	r	72H		
9	39H	s	73H	マ	CFH
		t	74H	ミ	D0H
A	41H	u	75H	ム	D1H
B	42H	v	76H	メ	D2H
C	43H	w	77H	モ	D3H
D	44H	x	78H		
E	45H	y	79H	ヤ	D4H
F	46H	z	7AH	イ	A8H
G	47H			ユ	D5H
H	48H	ア	B1H	エ	AAH
I	49H	イ	B2H	ヨ	D6H
J	4AH	ウ	B3H		
K	4BH	エ	B4H	ラ	D7H
L	4CH	オ	B5H	リ	D8H
M	4DH			ル	D9H
N	4EH	カ	B6H	レ	DAH
O	4FH	キ	B7H	ロ	DBH
P	50H	ク	B8H		
Q	51H	ケ	B9H	ワ	DCH
R	52H	コ	BAH	ン	DDH
S	53H			ツ	AFH
T	54H	サ	BBH	ヤ	ACH
U	55H	シ	BCH	ユ	ADH
V	56H	ス	BDH	ヨ	AEH
W	57H	セ	BEH	ア	A7H
X	58H	ソ	BFH	オ	ABH
Y	59H			ゝ	DEH
Z	5AH			。	DFH